

## 令和 6 年 度 活 動 報 告 書

組織名	運営会議		
<b>構成員</b>  (◎：会長)	所属	所属	
	あ げ お 福 祉 会	上 尾 市 障 害 福 祉 課	
	障 害 者 生 活 支 援 セ ン タ ー 社 の 家	障 害 者 生 活 支 援 セ ン タ ー あ ら ぐ さ	
	障 害 者 生 活 支 援 セ ン タ ー あ げ お	上 尾 市 障 害 福 祉 課	
	第 2 ぶ ち と ま と	桶 川 市 障 害 福 祉 課	
	障 害 者 生 活 支 援 セ ン タ ー あ ら ぐ さ	伊 奈 町 社 会 福 祉 課	
	( 事 務 局 ) 基 幹 相 談 支 援 セ ン タ ー		
目的	○全体会運営の協議 ○各部会の活動内容調整 ○障害福祉計画に関する協議・差別解消地域支援協議会・日中支援型グループホームの評価		
回	開催日	活動内容	場所
第 1 回	R6. 5. 28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年度活動計画の検討</li> <li>・ 各部会の進捗報告（各回のため以下省略）</li> <li>・ 差別解消地域支援協議会の位置づけについて確認</li> </ul>	桶川市地域福祉活動センター
第 2 回	R6. 8. 27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日中サービス支援型グループホームの評価方法について確認</li> <li>・ 就労選択支援意向アンケートの検討</li> <li>・ 全体会の内容検討</li> </ul>	桶川市地域福祉活動センター
第 3 回	R6. 11. 19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日中サービス支援型グループホームの評価内容確認</li> </ul>	桶川市地域福祉活動センター
第 4 回	R7. 2. 25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後の部会開催方法の協議</li> <li>・ 今後の研修の在り方についての協議</li> <li>・ 計画事業所の意向アンケートの確認</li> </ul>	桶川市地域福祉活動センター
<b>活動報告まとめ</b>			
<p>○主に各部会からの活動報告を行い、地域課題について検討するよう努めた。</p> <p>○日中サービス支援型グループホームへ評価のための訪問を行った。</p>			

## 令和 6 年 度 活 動 報 告 書

組織名	支援センター部会		
<b>構成員</b>  (◎：部会長)	所属	所属	
		障害者生活支援センター-みのり	上尾市障害福祉課
		障害者生活支援センター-杜の家	桶川市障害福祉課
		障害者生活支援センター-あらぐさ	伊奈町社会福祉課
		障害者生活支援センター-あげお	大学院教授（オブザーバー）
		相談支援センターわおん	（事務局）基幹相談支援センター
目的	相談業務における「情報発信と共有」「困難事例の検討」「援助に関する学び」「地域課題の整理や解決策の検討」「援助者同士の共感」の機会とする。		
回	開催日	活動内容	場所
第 1 回	R6. 4. 10	1 今年度の活動について 2 前年度の新規相談のまとめ、新規相談受付報告（3月分）	桶川市地域福祉活動センター
第 2 回	R6. 5. 8	1 新規相談受付報告（4月分） 2 事例検討（事例提供：みのり、あげお）	桶川市地域福祉活動センター
第 3 回	R6. 6. 12	1 新規相談受付報告（5月分） 2 学習会（テーマ：8050 問題）	桶川市地域福祉活動センター
第 4 回	R6. 8. 7	1 新規相談受付報告（6・7月分） 2 事例検討（事例提供：上尾市、杜の家）	桶川市地域福祉活動センター
第 5 回	R6. 9. 11	1 新規相談受付報告（8月分） 2 学習会（家族も含めた継続的支援について）	桶川市地域福祉活動センター
第 6 回	R6. 11. 13	1 新規相談受付報告（9・10月分） 2 事例検討（事例提供：あらぐさ、わおん）	桶川市地域福祉活動センター
第 7 回	R6. 12. 11	1 新規相談受付報告（11月分） 2 学習会（テーマ：金銭管理）	桶川市地域福祉活動センター
第 8 回	R7. 2. 12	1 新規相談受付報告（12・1月分） 2 事例検討（事例提供：桶川市、伊奈町）	桶川市地域福祉活動センター
第 9 回	R7. 3. 12	1 新規相談受付報告（2月分） 2 今年度の振り返り、来年度に向けて	桶川市地域福祉活動センター
情報交換会	R6. 10. 29	委託・計画相談支援事業所交流会 * 計画相談部会企画	桶川市地域福祉活動センター
活動報告まとめ			
<p>○事例検討会を少人数グループにしたことで意見が活発になり、援助に関する学びが得られた。</p> <p>○テーマを設けて困りごとなどを共有し、解決策を出し合う学習会を実施した。地域課題の整理につながり、また援助者同士が共感し合うエンパワメントの場となった。</p> <p>○オブザーバーから、家族全体を捉え、ライフサイクルを意識した予防的支援の重要性を学ぶことができた。</p>			

## 令和 6 年 度 活 動 報 告 書

組織名	計画相談部会		
<b>構成員</b>  (◎：部会長)	所 属	所 属	
	障 害 者 生 活 支 援 セ ン タ ー あ ら ぐ さ	い ず み の の 家	
	相 談 支 援 事 業 所 あ し す と	P O N O 桶 川	
	相 談 支 援 セ ン タ ー わ お ん	桶 川 市 障 害 福 祉 課	
	桶 川 市 子 ど も 発 達 相 談 支 援 セ ン タ ー	け あ ビ ジ ョ ン 桶 川 ( 1 月 ま で )	
		( 事 務 局 ) 基 幹 相 談 支 援 セ ン タ ー	
目 的	○計画相談に関する課題抽出・整理を行う ○事業所交流会や研修会を開催し、交流を深め相談支援の質向上を図る		
回	開 催 日	活 動 内 容	場 所
第 1 回	R6. 4. 17	・ R6 年度活動計画の検討	基幹相談支援センター
第 2 回	R6. 5. 23	・ 第 1 回連絡会 (6/5) の内容確認	基幹相談支援センター
第 1 回連絡会	R6. 6. 5	・「計画相談連絡会」(相談支援事業における R6 年度報酬改定について) (30 名。20 計画事業所、3 行政参加) ・ランチミーティング	桶川市地域福祉活動センター
第 3 回	R6. 7. 11	・ 6 月 5 日連絡会の振り返り・ランチミーティング	桶川市地域福祉活動センター
第 4 回	R6. 10. 2	・ 第 2 回連絡会 (10/29) の内容確認	桶川市地域福祉活動センター
第 2 回連絡会	R6. 10. 29	・「委託・計画相談支援事業所交流会」 ～事例検討を通して委託との連携を学ぶ～ (32 名。18 計画事業所、5 委託事業所、2 行政参加) ・ランチミーティング	桶川市地域福祉活動センター
第 5 回	R6. 11. 28	・ 第 2 回連絡会の振り返り ・ 今後の連絡会内容について ・ランチミーティング	社 の 家
第 6 回	R7. 2. 10	・ 第 3 回連絡会 (2/21) の内容確認	桶川市地域福祉活動センター
第 3 回連絡会	R7. 2. 21	・「計画相談連絡会」(報酬改定後の変化について・業務の効率化についての情報交換を行う。29 名。17 計画事業所、3 行政参加) ・ランチミーティング	桶川市地域福祉活動センター
第 7 回	R7. 3. 4	・ 第 3 回連絡会 (2/21) の振り返り ・今年度の振り返り及び R7 年度活動内容について	桶川市地域福祉活動センター
<b>活動報告まとめ</b>			
○対面式の情報交換会(研修)を 3 回実施した。支援センター(委託)連携を意識した交流会の他、報酬改定や日常業務についての意見交換の場を企画し、各相談支援事業所の質向上につながった様に感じる。 ○情報交換会の他、ランチミーティング・Web 上の事例検討会(3G)を通し、相談員同士の交流や知識向上の一助となった。 ○ガイドブック再編については、内容についてアイデア出しを行った。来期への継続としたい。			

## 令和 6 年 度 活 動 報 告 書

組織名	サービス管理責任者部会		
<b>構成員</b> (◎：部会長) (○：コア会議 メンバー)	所 属	所 属	
	第 2 ぷ ち と ま と	K a u r i	
	ア ジ ー ル	ア ジ ー ル	
	す み れ ホ ー ム	伊 奈 町 社 会 福 祉 課	
障 害 者 生 活 支 援 セ ン タ ー み の り	( 事 務 局 ) 基 幹 相 談 支 援 セ ン タ ー		
目 的	○障害福祉サービス種別ごとに支部を設定し、支部会にてそれぞれの種別における事業所間連携の強化や質の向上を目指し、地域課題にも取り組んでいく。 ○各支部の活動報告、課題共有を部会でを行い、協議をしていく。		
回	開催日	活動内容	場所
第 1 回	R6. 9. 26	・各支部会の取り組み、地域課題の共有・協議	基幹相談支援センター
第 2 回	R7. 3. 6	・各支部会の取り組み、地域課題の共有・協議	基幹相談支援センター
回 (コア会議)	開催日	コア会議 活動内容	場所
第 1 回	R6. 9. 4	・第 1 回サービス管理責任者部会の打ち合わせ	基幹相談支援センター
第 2 回	R7. 2. 13	・第 2 回サービス管理責任者部会の打ち合わせ	基幹相談支援センター
<b>活動報告まとめ</b>			
<p>○各支部会の支部長が参加し、支部の報告と協議を実施した。詳細は各支部会活動報告書参照。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就労支部会・・・支部会 2 回開催。コア会議 5 回開催。</li> <li>・生活介護支部会・・・支部会 3 回開催。コア会議 4 回開催。</li> <li>・グループホーム支部会・・・支部会 4 回開催。コア会議 7 回開催。</li> <li>・放課後等デイサービス支部会・・・支部会 4 回開催。連絡会 1 回開催。</li> </ul> <p>○次年度のサービス管理責任者部会は年 2 回実施。            9 月 25 日 10 時と 3 月 5 日 10 時に開催予定。他、協議事項が発生した場合は、臨時開催する。</p>			

令和 6 年 度 活 動 報 告 書

組織名	サービス管理責任者部会：就労支部会		
コアメンバー (◎：支部長)	所属	所属	
		K a u r i	障害者就業・生活支援センター CSA (事務局) 基幹相談支援センター
目的	○就労移行・就労継続 A.B 型事業所の支援の質の向上と連携強化のための取り組みを実施する。		
回	開催日	活動内容	場所
第 1 回	R6. 7. 17	<u>事業所紹介と情報交換</u> 現場職員向けのグループワーク <u>ミニ研修と情報交換</u> 管理者及びサービス管理責任者向け。 「この圏域の虐待防止・権利擁護の現状」について 基幹相談支援センター職員による講義 ・グループワーク	桶川市地域福祉活動センター
第 2 回	R7. 1. 29	<u>事業所見学と情報交換会</u> ・社会福祉法人とまとの会 ぶちとまと（生活訓練・就労移行支援・就労継続支援 B 型） ・株式会社エルサーブ アイディアル就労移行支援（就労移行支援）	ぶちとまと（上尾市） アイディアル就労移行支援（桶川市）
コアメンバー会議（支部会前後の打合せ）			
①	R6. 5. 13	今年度の活動計画の作成 「第 1 回支部会」打ち合わせ	基幹相談支援センター
②	R6. 7. 3	「第 1 回支部会」打合わせ	基幹相談支援センター
③	R6. 8. 1	「第 1 回支部会」の振り返り 「第 2 回支部会」の検討	基幹相談支援センター
④	R6. 11. 14	「第 2 回支部会」開催に向けた打合せ	基幹相談支援センター
⑤	R7. 2. 6	「第 2 回支部会」の振り返り 次年度に向けて検討	基幹相談支援センター
活動報告まとめ			
<p>○第 1 回支部会では、関係機関との連携強化、支援の質等の向上を目的に、例年通り現場職員向けの連絡会を実施した。他事業所の状況も把握でき、知識の向上等につながったと思われる。また管理者及びサービス管理責任者に対しては、研修として、基幹相談支援センターから「この圏域の虐待防止・権利擁護の現状について」情報提供等を実施した。</p> <p>○第 2 回支部会では、2 か所に分かれ事業所見学を実施し、見学後に情報交換を実施した。</p> <p>○令和 7 年度は（仮称）「はたらくフェス」を計画。圏域の障害者の就労支援に関わる機関等が一堂に会し、交流し、考える機会等創り、障害者の就労を地域で考える一助とすることを検討している。</p> <p>開催時期として、令和 8 年 1 月頃を予定。会場等については、調整中である。</p>			



令和 6 年 度 活 動 報 告 書

組織名	サービス管理責任者部会：グループホーム支部会		
コアメンバー (◎：支部長)	所属	所属	
	すみれホーム	おにぎり	
	ごらく	ピオ・ナチュラル原市	
	榆の木	クローバーハウス (事務局) 基幹相談支援センター	
目的	○R5 年度と同様に新規参入のグループホームとの連携の強化や各事業所で抱えている課題をグループ討議し情報交換する事で質の向上を目指し、地域課題にも取り組んで行く		
回	開催日	活動内容	場所
第 1 回	R6. 5. 29	・ R6 年度のコアメンバーの紹介。 ・ R6 年度の支部活動計画。グループ討議、情報交換。	桶川市地域福祉活動センター
第 2 回	R6. 8. 28	・ 障害と高齢サービスの併用。グループ討議、情報交換。	桶川市地域福祉活動センター
第 3 回	R6. 11. 26	・ 虐待防止・権利擁護の研修。グループ討議、情報交換。	桶川市地域福祉活動センター
第 4 回	R7. 2. 19	・ 県の実地指導の報告。 ・ 地域連携推進会議の実施報告、情報共有。	桶川市地域福祉活動センター
コア会議			
第 1 回	R6. 4. 17	新しいコアメンバーの紹介。今年度の活動について	基幹相談支援センター
第 2 回	R6. 6. 13	「第 1 回支部会」の振り返りと虐待防止研修の打ち合わせ	基幹相談支援センター
第 3 回	R6. 9. 10	「第 2 回支部会」の振り返りと「第 3 回支部会」に向けて	基幹相談支援センター
第 4 回	R6. 11. 5	「第 3 回支部会」虐待防止・権利擁護の研修について	基幹相談支援センター
第 5 回	R6. 12. 17	「第 3 回支部会」の振り返りと「第 4 回支部会」に向けて	基幹相談支援センター
第 6 回	R7. 2. 5	「第 4 回支部会」についてと来年度の支部会について	基幹相談支援センター
第 7 回	R7. 3. 10	「第 4 回支部会」の振り返りと来年度支部会活動について	基幹相談支援センター
活動報告まとめ			
<p>○R6 年度は計画通り 4 回の支部会を開催し、11 月に虐待防止・権利擁護の全体研修をする事が出来た。</p> <p>○報酬改定など法令の改定があり、支部会で情報の共有が出来た。</p> <p>○新規参入した事業所も多くあり、グループ討議を中心に活動し、各事業所の問題に全体で取り組み、サービスの質の向上に繋がった。</p>			



## 令和 6 年 度 活 動 報 告 書

組織名	こども部会		
<b>構成員</b>  (◎：部会長)	所属	所属	
	障害者生活支援センターあげお	多機能型事業所アッコルト	
	伊奈町子育て支援センター	上尾市東保健センター	
	いずみ園	上尾市障害福祉課	
	桶川市子ども発達相談支援センター	埼玉県発達障害総合支援センター	
	県央地域療育センター	上尾市発達支援相談センター	
		(事務局) 基幹相談支援センター	
目的	○就学前時期に絞り「定例部会」にて地域の現状把握と課題整理実施。 ○地域資源の見える化として、児発事業所等のガイドブックを作成する。 ○勉強会を開催し「知り合う。つながる。」顔の見える連携を強化していく。		
回	開催日	活動内容	場所
第 1 回	R6. 5. 22	・ R6 年度活動計画案の検討 ・ 勉強会の日程、内容の検討	埼玉県社会福祉事業団あげお
第 2 回	R6. 7. 23	・ 勉強会及びグループワークの内容について検討 ・ 児発、放デイガイドブック作成に向けて内容の検討	上尾市発達支援相談センター
第 3 回	R6. 9. 25	・ 勉強会の内容、進行についての協議及び確認 ・ 伊奈町ガイドブック作成内容の確認	桶川市子ども発達相談支援センター
勉強会	R6. 10. 22	「子どもを中心とした支援の充実を図るため、連携について考える」勉強会の実施 (児発・学校・相談・行政等 19 機関・22 名参加)	上尾かしの木特別支援学校
第 4 回	R6. 12. 4	・ 勉強会の振り返り、伊奈町児発ガイドブック作成について	上尾市東保健センター
第 5 回	R7. 2. 19	・ 今年度の振り返り及び来年度の活動内容について	埼玉県社会福祉事業団あげお
活動報告まとめ			
<p>○勉強会では 19 事業所 22 名が参加し、「多機関と連携した効果的支援事例」報告と共に連携について情報交換を実施した。</p> <p>○児童発達支援事業所、学校、相談支援、行政等が参加し情報交換、意見交換をすることで横の連携、理解が深まる一助になったと思われる。</p> <p>○地域課題としてあった「伊奈町児発事業所等のガイドブック」を作成し、資源の見える化を図った。今後 HP 掲載及び更新業務については伊奈町が担うことになっている。ご家族の事業所選り等の一助になればと考える。</p> <p>○今年度から会議前に会場見学を企画したため、構成員が所属する事業所概要等が把握できたことは効果的であったと考える。</p> <p>○次年度については、交流を含めた勉強会を今年度同様年 1 回実施していくこととする。</p>			

令和 6 年度 活動 報告 書

組織名	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム検討部会		
<b>構成員</b>  (◎：部会長)	<b>所属</b>	<b>所属</b>	
	上尾の森診療所	上尾市障害福祉課	
	武蔵野病院	桶川市障害福祉課	
	埼玉県済生会鴻巣病院	伊奈町社会福祉課	
	埼玉県立精神医療センター	上尾市健康増進課	
	けやき荘	桶川市健康増進課	
	障害者生活支援センター杜の家	伊奈町健康増進課	
	相談支援センターわおん	当 事 者 (研究チームのみ参加)	
	埼玉県鴻巣保健所	当 事 者 家 族 (研究チームのみ参加)	
	埼玉県精神保健福祉センター	(事務局) 基幹相談支援センター	
	“ デ イ ケ ア ( オ ブ ザ ー バ ー )		
<b>目的</b>	○精神障害者地域包括ケアシステムづくりに向けた検討を行う ○実践から多機関の役割、機能を互いに理解共有し、連携の在り方を検討する		
<b>回</b>	<b>開催日</b>	<b>活動内容</b>	<b>場所</b>
第 1 回	R6. 5. 10	・ R6 年度活動計画案の検討 ・ 改正精神保健福祉法の理解	桶川市地域福祉活動センター
第 2 回	R6. 7. 12	・ にも包括についての理解 (県や市町の役割について)	桶川市地域福祉活動センター
第 3 回	R6. 9. 13	・ 家族や当事者が抱える問題について	桶川市地域福祉活動センター
第 4 回	R6. 11. 8	・ ピアサポートとは何か?	桶川市地域福祉活動センター
第 5 回	R7. 1. 10	・ 高齢分野との連携について	桶川市地域福祉活動センター
第 6 回	R7. 3. 14	・ 居住支援についての理解	桶川市地域福祉活動センター
<b>地域精神保健医療福祉研修プログラムに関する研究チーム</b>			
全 6 回	R6. 4・6・8・10・12・R7. 2	2024 年頭から準備を進めていた「A01 まっぷ」が公開となった。また、2 月の活動では、当事者、家族、医師、その他関係機関職員等の参加による「多職種連携研修会」を開催し、地域の医療・福祉・行政の関係者、障害当事者・家族 18 名が参加した。	あげお富士住建ホール (上尾市文化センター)
<b>コアメンバー会議</b>			
全 7 回	R6. 5・5・6・7・10・12・R7. 2	主に、にも包括部会の振り返りと次回のための打ち合わせを行った。	基幹相談支援センター
<b>活動報告まとめ</b>			
○精神障害者地域包括ケアシステムづくりに向けた検討の場として、隔月のチーム会議、コアメンバー会議を含め全 19 回開催した。 ○法改正や周辺領域についての学習を深めたほか、にも包括そのものについての見識を深め、当事者や家族の抱える問題についてもフォーカスするなど、より実効性のある連携の在り方について検討を行った。 ○地域精神保健医療福祉研修プログラムに関する研究チームは上尾の森診療所の医師をチーム責任者とし、当事者、家族も参画した研修会を 2 月に実施した。 ○研究チーム内の試みとして、上尾の森地域連携室が中心となり、Web 上の地域資源マップ「A01 まっぷ」作成に取り組み、11 月に正式に公開した。 ○研究チームは令和 6 年度で終了となるが、今後は当事者・家族を含め、希望者はにも包括部会に吸収する形で、研修会も継続を試みながら活動を行っていく。			

## 令和 6 年 度 活 動 報 告 書

<b>組織名</b>	<b>医療的ケア児等支援部会</b>		
<b>構成員</b>  (◎：部会長)	<b>所属</b>	<b>所属</b>	
	障害者生活支援センターあらぐさ	県立川島ひばりヶ丘特別支援学校	
	生活介護事業所ピュア・スマイル	県立蓮田特別支援学校	
	児童発達支援つくし学園	上尾市障害福祉課	
	児童発達支援いずみの学園	桶川市こども未来課	
	放課後等デイサービスさくら	伊奈町社会福祉課	
	埼玉県医療的ケア児等支援センター-地域センター-かけはし	(事務局) 基幹相談支援センター	
<b>目的</b>	○医療的ケア児等に係る関係機関と連携し、上尾・桶川・伊奈地域自立支援協議会で取り組むべき課題を精査していく。		
<b>回</b>	<b>開催日</b>	<b>活動内容</b>	<b>場所</b>
第 1 回	R6. 6. 25	・ R6 年度活動計画の検討 ・ 各事業所の状況と課題の共有	桶川市地域福祉活動センター
第 2 回	R6. 9. 10	・ 今年度の活動について検討 例：アンケート調査、学習会	桶川市地域福祉活動センター
第 3 回	R6. 12. 5	・ 部会員所属の事業所へ防災計画や各事業所の取り組み等について現状確認を行い、グループ討議にて課題の抽出を行う。	桶川市地域福祉活動センター
第 4 回	R7. 2. 19	・ 次年度の取り組みについて検討（防災に関する勉強会の実施や、ヒアリング、在宅避難について）。 ・ 各事業所の状況を確認。	桶川市地域福祉活動センター
<b>活動報告まとめ</b>			
○第 1 回部会	今年度活動計画案についての検討。		
○第 2 回部会	活動計画についての再度検討。例：災害時についてアンケート（当事者・事業所）学習会（災害時個別支援計画）。災害時の各事業所での対応について協議する。		
○第 3 回部会	部会員が所属する機関の防災への取り組みについての結果を基にグループ討議		
○第 4 回部会	次年度の取り組みについて協議。防災の取り組みについては長期的に検討していくこととし、次年度は防災に関する勉強会の実施や、ヒアリング、在宅避難について協議していく。		